

令和6年度 宝塚市自立支援協議会 専門部会活動経過報告書

●けんり部会活動経過報告	1
●くらし部会活動経過報告	6
●しごと部会活動経過報告	12
●こども部会活動経過報告	17
●事務局会議・特定相談支援事業所連絡会	21



令和6年（2024年）10月
宝塚市自立支援協議会

● け ん り 部 会 活 動 経 過 報 告

第 1 回けんり部会 会議議事録	
日時・場所	令和 6 年 6 月 18 日(火) 13:30~15:30 中央公民館 205 学習室
出欠者	出席者:13 名 欠席者:4 名
議題	内容(決定事項等について)
1. 常任委員紹介	・常任委員紹介。
2. 自立支援協議会について	・事務局より、宝塚市自立支援協議会・組織図について説明。
3. 令和 5 年度自立支援協議会 全体会の報告	・事務局より報告。
4. 障碍(がい)のある方への選挙の取り組みについて	<p>○事務局より、宝塚市の現状を報告。</p> <p>・宝塚市では、市の「選挙管理委員会」のホームページに【投票所への移動に関する支援】【投票支援カード】についての記載がある。</p> <p>・先駆的な取り組みをしていると情報提供のあった狛江市では、各自治体が作成している選挙従事者向けのマニュアルとは別に障碍(がい)者理解に特化したものが作られている。</p> <p>○意見交換</p> <p>・配慮と誘導の線引きはどこにあるのか？</p> <p>・選挙広報誌にコミュニケーションカードやコミュニケーションボードがセットでついており、必要な人が切り取って使えるようにしてもいいのではないか。投票場所をイラストや地図付きで分かりやすくすることはできないか。</p> <p>・狛江市のように選挙事務の方に向けたマニュアルがあることで障碍(がい)者理解の啓発になるのではないか。</p> <p>・選挙や投票をすることの大切さを、市のふれあいトーク(出前講座)で障碍(がい)のある方にも分かりやすく説明してもらえないか。</p> <p>・市のホームページにおいて、コミュニケーションボードの紹介などを選挙管理委員会のページだけでなく、障碍(がい)福祉に関するページにもリンクを貼ることができないか。</p> <p>※実際に投票に行きたくても行けなかった、こんなことがあってよかった等、実際の声を参考に継続協議とする。</p>

<p>5. 昨年度の振り返りと今年度の取り組みについて意見交換</p>	<p>・昨年度の協議内容と、意見として挙がっているながら協議ができていないものを確認。昨年度に意見のあった「合理的配慮」について、委員の身近で起こった気になる事柄について話すとともに、今年度新たに協議できればと考える意見についても出し合った。</p> <p>○意見交換等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市高齢者・障害(がい)者権利擁護支援センターでは、特定相談支援事業所や委託相談支援事業所を対象に改正された差別解消法の勉強会を今年度実施予定。 ・民間バス停に通所事業所の送迎バスが停車している。立って待つことの難しい利用者がバス停に椅子を置いていたのだが、民間バス会社から椅子を撤去するようにと張り紙があった。結果的には通所事業所が椅子を寄贈することで撤去はしなくても良いこととなった。最初から話し合いができていればよかったと感じるケースであった。 ・グループホーム利用者が内科疾患等で入院した時、入退院時の同行などを事業所として行っているが、結局何があったのか、退院後どのように対応してよいのか何も教えてくれず困ることがある。 ・令和4年の事にはなるが、熱中症で受診した際、コロナの検査だけ行い「かかりつけ医でもないし何するか分からない障害(がい)者の人は診られない」と点滴すらお願いできずに帰されたことがあった。 ⇒それは医療法違反に当たると思われる。 ・病院に体調不良の方の受診相談をしたが「診られません」と断られ、その理由は不明なままであった。 ・合理的配慮を考えた時、権利主張をするだけでなくまずは障害(がい)者理解から始める必要性を感じる。 ・地域に住んでいて、障害(がい)特性から地域住民とトラブルになっているケースがある。その人にも住み続ける権利はあるし、地域住民にももちろん住む権利がある。支援者として支援するにあたりジレンマを感じる場面が多い。 ・市、社会福祉協議会、民生児童委員連合会で発災時を想定し情報伝達訓練を実施した。災害時要援護者リストをもとに動き、発災時に実際にどう支援していくのかを考える予定としている。 ・合理的配慮を考えると、建設的な対話が大切となる。客観的な視点と対話により折り合いをつけていく必要がある。 <p>※今年度の協議テーマについては、挙げられた意見も参考に事務局で検討し、次回提案することとする。</p>
<p>5. その他</p>	<p>・今後の日程について 第2回 8月19日(月) 13:30~</p>

第3回 10月24日(木) 13:30~
第4回 12月23日(月) 13:30~
第5回 2月18日(火) 13:30~

第2回けんり部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年8月19日(月) 13:30~15:30 3B 会議室
出欠者	出席者:15名 欠席者:2名
議題	内容(決定事項等について)
1.地域移行支援事業の進捗報告	<p>○事務局および相談支援事業所(委員)より報告</p> <p>地域移行支援事業の実績件数</p> <p>⇒令和5年度 精神科病院:2件・入所施設:3件</p> <p>⇒令和6年度 精神科病院:2件・入所施設:1件</p> <p>・支援準備中の件数 ⇒精神科病院:6件・入所施設:0件</p> <p>○質疑等</p> <p>・他市の方が「宝塚に住みたい」と宝塚市を選ぶ理由は何か?</p> <p>⇒三田方面にある精神科病院に通いやすいことと、宝塚駅前には利便性が良いことが考えられる。また、三田市や神戸市北区はグループホームの数が少ないことも要因ではと感じている。</p> <p>・退院先はグループホームがメインになるのか?</p> <p>⇒ご本人の希望による、もちろん一人暮らしも考えるが、長期入院でもあり、グループホームでの生活に慣れ、次のステップとして一人暮らしを考えるケースとして支援を行った。</p> <p>⇒集団生活が苦手な方に関しては一人暮らしでの退院を描くこともあると考える。グループホームありきではなく、個々のケースで退院先を考えてもらえるとありがたい。</p> <p>・地域移行支援事業の件数は増えてきていると考えてよいか?</p> <p>⇒以前と比べると増えてきているのかもしれないが、感覚としてはまだまだ病院からの依頼は少ないと感じている。病院からは、宝塚市は住まいにより相談窓口が明確化されているため分かりやすいし相談しやすいと言われているものの、やはりご本人の退院意欲の面で課題があるとは感じている。今後実績を積みながらさらに相談・実績件数が増えていけばと感じている。</p> <p>・地域移行支援事業を行うにあたり、行ける範囲などあるのか?</p> <p>⇒宝塚市内に精神科病院がないこともあり、移動に時間がかかることは仕方ないとみている。</p> <p>⇒遠方で対応が難しいのではとなった時には、依頼先近隣の相談支援事業</p>

	<p>所につなぐことも一つと考えてほしい。</p> <p>・退院してもうまくいかなかったとき、戻ったりできるのか？⇒できる。</p>
<p>2.合理的配慮について意見交換</p>	<p>・内閣府が発行するリーフレット「令和6年4月から合理的配慮の提供が義務化されました」をもとに、部会長より合理的配慮とは何かを解説。</p> <p>○質疑・意見交換</p> <p>【公共交通機関の問題】</p> <p>・地域で暮らす障碍(がい)のある方で、近くのバス停ではなく一つ離れたバス停で降りて2人の同行者とともに帰ってくる方がいる。なぜ近くのバス停で降りられないのかと思ったが、引き込み線の有無の関係で、一つ先のバス停でないと降りられないことが分かった。しかし、そもそもバスが止められないのはなぜなのか。どのような根拠に基づいているのだろうか？</p> <p>⇒バス会社と話してみないことには分からない。そのためにも、「このバス停で降りたい」とご本人が伝えて初めて話が始まる。</p> <p>・バス停に椅子を置きたかったが、バス会社に受け入れてもらえなかった。バス会社に対してどこまで話してよいのだろうかと悩むし、大企業なのだから話を聞いてくれてもいいのと思うこともある。</p> <p>⇒対応ができる・できないに企業の規模の大きさは少なからず関係があるだろう。しかし、できない理由は何なのか、客観的に話をすることは必要。そのため、まずは本人が企業に伝える。伝えても話ができなかったときに市が設置している「障碍(がい)を理由とする差別に関する相談窓口」に間に入ってもらう着地点を見つけることも一つ。相談窓口は障碍(がい)福祉課と宝塚市高齢者・障碍(がい)者権利擁護支援センターが担っている。</p> <p>・JR武田尾駅にエレベーターが設置されたが、合理的配慮が義務化されたことも関係はあるのだろうか？今まで何度伝えても利用者が少ないと設置に至らなかったのだが…。⇒法律ができたことの影響はあると考えられる。</p> <p>・JRはまだまだ車いす利用者が自由に乗降できない駅が多い。私鉄においても、何時に乗降すると伝えないといけないうところもある。本来は自由に乗り降りできたらよいのだが…。</p> <p>【行政手続きに関すること】</p> <p>・グループホーム利用者のごみ処分手続きのためクリーンセンターに連絡を入れたが、本人・家族・ケアマネ以外からの連絡は受け付けないと言われた。本人のことをよくわかっている事業所職員が連絡しているのになぜ受け入れてもらえないのか。</p> <p>⇒対話の機会を持つことが大切。しかし、難しいとなった時には「障碍(がい)を理由とする差別に関する相談窓口」に相談することも一つだが、事例を蓄積し話をしていく必要もある。</p> <p>⇒行政に関する困りごとに、行政が管轄する「障碍(がい)を理由とする差別</p>

	<p>に関する相談窓口」に間に入ってもらうことはどうなのだろうかとの思いも生じるかもしれない。兵庫県弁護士会に「障害者なんでも ADR」という双方の言い分を聞いたうえで話し合いをする仕組みもある。法テラスを利用できるし、絶対の解決を保証するものではないが、身近に利用できるものとして知っておいてもらえれば。</p> <p>【学校に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習障害（がい）で板書が難しい児童がスマホを利用し写真を撮ることができればよいが、学校のルールで一律にスマホはダメとなったケースがあった。障害者手帳があれば他の生徒に示しがつくのだろうか。 ・昔の話にはなるが、難聴がある子について入学前に学校に相談を持ち掛けたところ、音への配慮として全ての机や椅子の足にテニスボールをつけたり、座席の場所なども配慮をしてくれたことがあった。とても嬉しかった。 <p>※合理的配慮は本人が声を上げるアクションがあればよいが、現実的には支援者が声を上げることも多いと考えられる。事例を集めながら、良かったこと、悪かったこと等共有しつつ考えていくことができれば。</p> <p>※西宮市社会福祉協議会が作成した「たけしくんがラーメンを好きになったわけ」の紙芝居も是非一度みてもらえたら。(ネット検索で視聴が可能)</p>
3.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者制度について、宝塚市はどのようなになっているのか。一度説明を受ける機会を持つことも一つ。

【今後について】

昨年度は、けんり部会常任委員から「話し合いたいテーマ」を募り、挙げられたテーマについて協議を進めてきた(住居問題、地域の方とのかかわり、意思決定支援など)。まだ話し合えていないテーマも残されており、今年度中にはすべてのテーマについて協議することを予定している。その上で、継続して深めたいテーマについては継続して協議を行い、「権利擁護」に関する課題整理と展開について検討していく。

また、障害（がい）のある方の「権利擁護」を考えた時、その根幹には「意思決定支援」が重要な視点となることを、まずは部会での協議を通じて共有していきたいと考えている。

● く ら し 部 会 活 動 経 過 報 告

第1回会くらし部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年6月14日(金)14:00~15:30 3A会議室
出欠者	出席者11名 欠席者2名
議題	内容(決定事項等について)
1. 自己紹介	・常任委員紹介。自己紹介を行う。
2. 自立支援協議会(くらし部会)について	<p>●自立支援協議会の説明 基幹相談支援センターより自立支援協議会の説明を行う。</p> <p>■委員より出た意見</p> <p>・自立支援協議会が法律上どうなっているか、運営要綱、設置要綱を出してほしい。</p> <p>・事務局会議、特定連絡会での内容を共有してほしい。 そこで気になる部分をくらし部会で検討するのも一つではないか。 ⇒活動結果報告書で事務局会議と特定事業所連絡会の活動を報告しているが、委員の皆様にも共有する。 設置要綱、運営要綱は、新しい委員の方には情報提供している。 これも改めて常任委員に共有する。</p> <p>・各部会の中で重なっている話題も多く、その話題に関して定例会の中で今後議論する取り組みも考えられている。そこで得た情報を委員の皆様にも共有していく。</p>
3. 昨年度の振り返り・今年度の方向性について	<p>●前年度の振り返り並びに今年度の方向性</p> <p>・「ほっと♪たからづか」のお披露目会は、昨年度(令和6年2月20日)に実施したため一旦終了。</p> <p>・今年度は、「医療・かかりつけ医との連携」「まちづくり協議会との連携(障碍(がい)理解の啓発)」の2つのテーマを継続して検討していく。</p> <p>●医療・かかりつけ医との連携に関して</p> <p>【医療情報の収集】</p> <p>1. 制度理解</p> <p>・往診制度や訪問診療の制度は、相談支援事業所であっても知らない事もある。実際に在宅診療を行っている先生から話を聞く機会を設け、制度について理解を深めていくのはどうか?</p>

2. ニーズ調査

・在宅診療は主に高齢者であり、障害(がい)のある方の在宅診療に関して実際どの程度周知できているかなどを含めたニーズの把握を並行して取り組む。⇒ニーズ調査を行うならば、どんな内容(質問項目)で、どのように調査をしていくのかなどを精査する必要がある。

【相談支援事業所のネットワークの構築】

・相談支援事業所によって、医療機関への情報(この障害(がい)なら、どこの病院が良いか)の差は出ていると思う。

そのため、今まで、障害(がい)の医療を取り扱ってもらえた事例などを集約したり、各事業所が病院と連携するルートを作ったりと、情報共有するネットワークが必要だと思う。

例:訪問診療を知らない方に対して、その存在を周知すれば助かる方は多くいる。そういった情報を漏れなく提供することが大事である。

大学の歯科診療なら障害(がい)があっても診てもらえる。

療育手帳の方であれば診てもらえるなど…。

【医療機関同士との連携】

・小児から成人に代わる移行医療が課題であり、相談支援事業所でそういった情報や事例があれば安心である。なお、15歳過ぎても小児科で診てくれる病院は少ないがある。ただ処方される薬が、小児科の量の薬で処方される。成人用の薬量でない。

・先生によっては、次が変わってと言われるところもある。

・兵庫県に問い合わせするところもあるが、手探り状態である。

・医療的ケアが必要な児童は専門的な部分に関しては、受診しているが、風邪などちょっとした病気を診てもらえる医療機関(かかりつけ医)を見つけるのが難しい。歯科、眼科など、地域で受け入れるところが分かっているならば良い。行けていないから事例がないということもある。

・以前コロナワクチンを打つ時に、状況を説明することが(療育手帳所持の方には)難しいと断られた経験がある。そのため家族会などから色々な方の情報を得て、安心して医療機関に受診できる場所を探してから予約を入れることが多い。

・医師会などでは、来院したら障害(がい)の有無に限らず診察をすると言っているため、色々な所に電話をすれば良いと思うが、親が身構えてしまい、踏み切れない部分もある。

⇒医師会などで受けた情報などがあれば共有してほしい。

	<p>●障害(がい)者理解について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会などの地域住民(病院も含む)に対して、障害(がい)者(家族も含む)の立場から皆さんがこういう風に考えているのではないかと思ひ、理解を深めようとしても地域(病院)住民とのズレが生じてくると思ひ。 ・例えば地域住民から、障害(がい)のある方で“こういう場面でこういう行動があり困ったとの事例が出て、それに対してこういう対策をすれば良いなどの提案ができれば、障害(がい)者理解も深まると思ひ。 ・<u>地域の方に障害(がい)のある方に対して、“困ったことがある”嫌なことがあった“などのエピソードを集めて掘り起こしてみるのもよいと思ひ。</u> <p>(例:あるコメンテーターの話によると、グループホームに行く時に周りから反対された。その方に反対した理由を聞くと、その方の子供のころに、ファミレスで障害(がい)のある方に自分のものを食べられた記憶があり、それから障害(がい)者は怖いと感じてしまったなど、電車の中でぶつぶつ言う人がいて、怖かったが、こういう特性だと分かると安心したなどのエピソード)</p> <p>●まちづくり協議会との連携に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>障害(がい)理解と啓発という部分で言うと障害(がい)者に対する恐怖心などをなくしていくものもあれば、いわゆる無関心層に対しての啓発もあると思ひ。障害(がい)者理解を深めていく上で、ターゲットを絞っていく方がよいのではないかと思ひ。</u> ・無関心層にアプローチは難しい。そのため、まちづくり協議会・地域と連携しながら情報を共有し、防災の視点からアプローチしてみるのも一つだと思ひ。 <p>その他 開催日について・・・医療の話をするならば、医師会の方が来られる方に合わせて、設定をして欲しい。</p>
--	--

第2回くらし部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年8月9日(金)14:00~15:30 第2庁舎 会議室B
出欠者	出席者11名 欠席者2名 次回予定 令和6年(2024年)10月11日(金)14時~15時30分 第2庁舎 会議室B
議題	内容(決定事項等について)
1.自己紹介	・常任委員紹介。自己紹介を行う。 今回より参加する委員もいたため自己紹介を行った。

<p>2. 前回の振り返り</p>	<p>●障害(がい)理解の啓発に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無関心層に対する啓発を検討する。 ・すでに様々な理解、行事に参加している方だけでなく、そうでない方にどう啓発するかを検討する。 <p>●医療・かかりつけ医に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅診療、訪問診療を活用するため情報収集を行う、情報提供をする機会を設けること ・実際に具体的にどんなニーズがあるのかを把握するニーズ調査、医療にかかわる方々も含めて聞くことを検討。
<p>3. 協議事項</p>	<p>●障害(がい)理解の啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員の団体の取り組み <p>○9月14日に障害(がい)者スポーツ体験会を実施。障害(がい)の有無に関わらず参加できる形で実施。毎年9月に実施し、150人ほど参加。来年1月ボッチャ大会を実施予定。できるだけ多くの方に参加してもらうように参加を促している。</p> <p>○知的・発達障害(がい)の特性理解の啓発のため、すみれ隊を実施。小学校の福祉学習や看護専門学校、地域の民生委員からもオファーがある。啓発ポスターは昨年度の障害者週間記念事業に合わせて作成する。</p> <p>○横浜市で「医療的ケアとは何なのか」という冊子を買って、地域の学校や障害(がい)を知らない方、医療的ケアを知らない方に向けて配布する活動をしている。</p> <p>○地域で暮らし続けるためにどのような制度があるか研修を行った。参加者からは、障害(がい)者の有無に関わらず、こういうことを知ることが大事だという感想があり、こういった啓発活動は大切だと改めて感じた。</p> <p>○zukavoで作成した福祉学習プログラム集を学校地域に配布。福祉教育など、各まちづくり協議会で企画しており、その企画を支援している。</p> <p>○かかりつけ医をつくることを市民に向けて発信している。</p>

普段から診てもらっている方と、初診の方では違いがあり、医師としても普段から診ていると対応しやすいため、患者にとっても安心となる。

医師会ホームページで医師会会員の医療機関の掲載をしたり、医療マップ（来年ぐらい新しいマップを更新）を作成して発信している。

○発達障碍（がい）の理解を深めてもらうため、毎年 4 月ブルーアクションを実施している。

地域住民を対象に、西谷の野菜や利用者の作品を販売している。

認知症の方や障碍（がい）の方も気軽に来られるようなサロンを立ち上げようと企画している。

○クリスマス会、スポーツ大会を実施。民生児童委員の方に参加してもらったり、地域のイベント祭りにも参加している。民生児童委員の会議にも出席したりして、ちょっとしたつながりを作ることを意識している。

○入院時、特別なコミュニケーションが必要な方や、強度行動障碍（がい）の方を支援した時に入退院支援加算が取れるよう、令和 6 年度から診療報酬が改定された。

●医療・かかりつけ医との連携に関して

・前年度クリニックに話をしてもらっていたが、キャンセルとなりそのままになっている。部会として必要なか検討する必要がある。

・家庭医は、薬局と提携していたり、オンラインで診療対応していたりするので 24 時間診てもらえるという安心感がある。そういったところを共有できればという気持ちはある。

・往診・訪問診療を、肢体不自由の方しか使えないと理解されている方が多く、知的・精神障碍（がい）の方も使えること、具体的な利用方法を発信する必要がある。

・かかりつけ医に関して

内科や外科などは、かかりつけ医になりやすい一方で、耳鼻科、眼科は、特定の場所を処置しているので、すべてを見るわけではないのでかかりつけ医にはなりにくい。

特定健診を受けているとその病院がかかりつけ医にしやすい。

	<p>・インフルエンザの予防接種のみしか受診してない方でも介護保険の意見書を書いてもらえるのか？ ⇒書くが、一度受診してもらう必要がある。</p> <p>・往診、訪問診療専門の病院もある。ただし、障碍（がい）者は少なく、高齢者が多い。 ⇒医師会で、内科や外科の往診医の一覧を作成することはできる。医師会でそれぞれの診療所で往診・訪問診療しているか確認することはできる。 （例：初見の方でも往診になるのか）など、どういう項目を聞いてほしいかを提示してもらえれば医師会に確認可能。</p>
3. その他	<p>自立支援協議会 定例会（9月25日）全体会（10月30日） 社会福祉審議会の委員から、くらし部会での議論内容を共有してほしいとの意見があり、くらし部会の報告を行っている。社会福祉審議会の資料を今回のくらし部会の議事録と共に各委員に配布する。</p>

【今後について】

●医療・かかりつけ医との連携に関して

宝塚市医師会を通じて医師会員にアンケートを実施。（9月から10月頃）

委員からの意見を集約しアンケートを作成。医師会理事会（第2第4火曜日）に提出する。

● し ごと 部 会 活 動 経 過 報 告

第 1 回しごと部会 会議議事録	
日時・場所	令和 6 年 5 月 16 日 (木) 14:30~16:00 第 2 庁舎会議 A および Zoom
出欠者	出席者 18 名 欠席者 2 名
議題	内容 (決定事項等について)
1.しごと部会三役の選任式	<p>〈前部会長より、三役についての説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の三役員選任を行う。
2.自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・委員・事務局より自己紹介を行う。
3.自立支援協議会についてと自立支援協議会全体会の報告について	<p>〈しごと部会事務局基幹相談支援センターより〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会についての説明。(資料参照) ・自立支援協議会全体会の報告。(3月29日(金)東公民館ホール) <p>しごと部会からは、合同説明会等の報告を行う。</p> <p>意見として、一般企業への啓発をどうしていくのかが課題ではないか。 ⇒今後検討していくと回答する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターについて、宝塚市は他市よりも進んでいないがピアサポート活動については社会福祉協議会を中心に取り組む。
4.共同受注窓口グッドジョブからの報告について	<p>〈グッドジョブより〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年 4 月~令和 6 年 3 月までの収益:約 1200 万円 ・前年度より 150%増し(工賃に反映されている) ・メーリングリストについては、グッドジョブでとりまとめて、年 2 回更新予定。
5.「事業所合同説明会」の開催について	<p>〈合同説明会について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日(土曜日)13:00~16:00 アピアホール。 ・事前説明会を実施し 17 事業所が参加。 ・来週中頃チラシが手元に届く予定。その後作業部会よりチラシをもって各関係機関へ説明に回る予定にしている。 ・5月2日にエントリーメールを送って、現在、34事業所が参加で5事業所は返事待ちの状況で確認している。 <p>〈委員からの提案事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日参加する事業所で「それぞれのはたらく」「あなたにとってはたらく」を一言ずつ映像で撮影して会場で放映するのはどうか。 <p>⇒作業部会として検討する。</p>
6.年間スケジュールについて	<p>〈部会長より年間スケジュールについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日福祉事業所合同説明会 ・10・2月定例会

	<ul style="list-style-type: none"> ・11・3月全体会 ・しごと部会で協議が必要なものについては随時拾い上げていく予定。 ・過去、年2回イベントを実施していた。現在は説明会をしているが今後の話合いの結果でセミナーか違うイベントを実施予定。 ・定例会で議論できるようにテーマを決めていきたい。 <p>〈定例会に向けた協議事項について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの定例会は、協議内容を報告する場として機能。
7.お題について	<p>〈部会長よりお題について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の体制になって4年目になるが、引き続き今年度も予めお題を出して考えてきてもらう。コメントに対しては全員でフィードバックをしていく。
8.その他	<p>〈兵庫県立こやの里特別支援学校より非常勤講師について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、県からの予算を本校では進路で使う。(近隣の学校ではカウンセリング等で使っている)本校ではキャリア教育の充実を図っていきたい。外部講師として宝塚育成事業所に依頼し7月に講和、9月に仕事体験をしてもらう。 ・前期5コマ、後期4コマで最初は講和で後は学校の備品の消毒・ベッドの組立等出前作業のように実施予定。今後、出前講座等につながるようにしたい。

第2回しごと部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年7月18日(木)14:30~16:00 第2庁舎会議BおよびZoom
出欠者	出席者16名 欠席者3名
議題	内容(決定事項等について)
1.共同受注窓口グッドジョブからの報告について	<p>〈グッドジョブより〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も前年度同額の補助金になる。 ・2事業所が新しく加入したが前年度から1事業所が継続していない状況。 ・除草作業で宝塚市役所本庁舎・第2庁舎の依頼が入っている。
2.「事業所合同説明会」の開催について	<p>〈グッドジョブより合同説明会の進捗状況について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日(土曜日)13:00~16:00 アピアホールで開催 ⇒スケジュール表・配置図については作成中。 参加事業所:40事業所 *意見をもらっているコンシェルジュについては実施予定。(具体的な運用については今後の課題) ・冊子への参加:34事業所 ⇒最新のものに更新していく
3.お題について	<p>〈下記事前課題について各委員の考えを共有〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① あなたにとって「はたらく」とはなんですか ② 定例会に向けての協議事項について

	⇒次回課題、回答に対するコメントを全委員が行う(後日送付予定)
4.その他	<p>〈委員より〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月11日県立こやの里特別支援学校にて職業の授業を行った。 ⇒学校よりコメント:職業という事業で、2年生・3年生対象で卒業後に働くとはどういうことなのかを講義してもらった。非常に興味を持っていたので、実習を通してさらに理解を深めてほしいと思う。 ・9月17日(火)合同就職説明会有り、40社近く参加予定。 みやこホテルで開催予定。8月下旬に兵庫労働局ホームページでアップ予定。 ・県立こやの里特別支援学校で9月にオープンスクールを実施予定。ホームページから事前申し込みで、3日間行われている授業を見学してもらえ。 ・第46回総合リハビリテーション研究大会の開催について、テーマは、「障害者就労の現状と課題～近未来のために」で、開催日は12月20・21日の2日間。会場:大阪。

第3回しごと部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年9月19日(木)14:30~16:00 第2庁舎会議BおよびZoom
出欠者	出席者17名 欠席者2名
	次回予定 令和6年(2024年)11月14日(木)14:30~16:00 中央公民館 203.204 および Zoom
議題	内容(決定事項等について)
1. 共同受注窓口グッドジョブからの報告について	<p>〈グッドジョブ理事長より〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会からの草刈り・庭掃除の依頼が増えている。 ・10月より長尾山霊園の清掃依頼があり、5~6事業所で対応。 ・屋外作業の依頼が増えるのではないかとされる。
2. 「事業所合同説明会」の報告・振り返りについて	<p>〈合同説明会の報告・振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日(土曜日)13:00~16:00 アピアホールで実施。今年度は、作業・展示・販売のブースを設けて行った。事前に会場配置を考えていたが、当日の変更もあり今後実施の際の課題だと感じている。 ・アンケートからも会場の配置、開催時期についてもう少し早くてもとの意見があった。 ・101名の参加があり、当日アンケートを実施し31枚回収。 <p>〈各委員からの意見・感想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加事業所の展示がそろっていなかった。⇒そろっているとわかりやすかったと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コンシェルジュの意見をだしてもらっていたので良かった。 ・就労継続支援事業所 A 型事業所と B 型事業所の違いが分かっていないこともあり勉強しておかないといけないと思った。 ・写真やパソコンで言葉だけでなく見える形でよかった。 ・本校よりの参加は昨年よりも多かった。 ・1 年に 1 回進路説明会をしているが、福祉サービスや就労継続支援 A 型事業所・B 型事業所の違いや訓練できる場所も伝えたいし、保護者が感じたことを聞いて説明していきたい。 ・自立訓練のことは厚生労働省のリーフレットが分かりにくいので分かりやすいものがあればと思っている。 ・保護者からは良かったと聞いている。 ・パンフレットだけだったので説明の仕方を工夫したい。 ・机の前に看板的なものがあつた方がわかりやすかったと思う。 ・昨年度に比べて人の入り具合が違った。 ・たくさんの方に参加いただきありがたかった。 ・改善点もあった。どこまでのものにするのか、どこまでしごと部会がするのか、継続していく仕方をどうするのかを検討していきたい。 ・実行委員会を立ち上げるのもよいのではないかと思う。 ・歩いていける駅に近い場所だったので良かったのではないか。 ・10 回ぐらい続いていて、いろいろ見直して進めていき随分と進化したと感じている。今回は本当に良かった。
3.お題について	<p>〈下記事前課題について各委員の考えを共有〉</p> <p>③ あなたにとって「はたらく」とはなんですか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題のコメントについては、参画していることを意識してもらうこと。 ・各団体のコミュニケーションツールとしても使えるのではないか。 <p>④ 定例会に向けての協議事項について</p> <p>〈三役からのフィードバック〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バラバラの人が集まっているから面白い。自立支援協議会が通り一遍で厚労省に寄せている感じでまだまだだと思った ・2カ月に 1 回とシェアする時間が短いのでどれだけフィードバックができていいのかと思う。フィードバックしやすいシステムがあればいい。他部会にも理解を求めていきたい。 ・令和 3 年の時に一度課題で上げている。みんなが分かりやすい資料は何かと考えて活動報告を作つてかみ砕いた形の資料を作つた。足並みをそろえてベクトルをそろえて同じ方向に向かっていけるようにしたい。 ・所属団体でも課題を抽出してベクトルを内に向けてもらう。
4 協議事項につ	〈定例会に向けての協議事項〉

いて	<p>・リアル課題をあげて1つ協議事項の提案を行う。(ミクロからマクロへ)</p> <p>(例1) サービス担当者会議で出てきた課題⇒例えばギャンブル依存症・生活保護のケースで保護費がなくなる・金銭管理の問題・生活の場の問題は計画だけでは対応が難しいことを報告する。</p> <p>(例2) グッドジョブの成り立ち⇒小さな事業所では受ける事が出来ない仕事を何か所かの事業所が集まれば大きな仕事を受けることができる。どういう形であれば実現できるのかを検討した結果、ミクロからマクロで現在のグッドジョブになった。今後、困窮事業へ仕事を振ることができない状況でどのようなつながりとルールでできるようにするのは協議して広げていきたい。</p>
5 その他	<p>〈障碍(がい)福祉課より研修の案内〉</p> <p>・令和6年度自殺予防ゲートキーパー養成講座「死を考えた人に私たちは何ができるのか？」</p> <p>日時・場所:令和6年11月5日13:30~16:40、中央公民館</p> <p>〈兵庫県立こやの里特別支援学校の実践状況について〉</p> <p>・令和6年9月12日(木)9:50~11:40 特別講座を行った内容について別紙にて確認。</p>

【今後について】

- ・お題に対するコメントを通じて、委員同士の考え・価値観などの理解を深める。
- ・定例会に向けての協議。
- ・今後のしごと部会として取り組みについての協議。

● こ ど も 部 会 活 動 経 過 報 告

第1回こども部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年6月5日 13:30~15:00 大会議室および ZOOM
出欠者	出席者:18名・事務局:5名 欠席者:1名
議題	内容(決定事項等について)
・自立支援協議会について	基幹相談支援センターより組織図に沿って説明を行う。 全体会 昨年度の各部会について報告
・自己紹介	各委員より自己紹介を行う。
・部会長・副部会長の承認について	部会長・副部会長の選任。
・今年度の議題の確認	<p><たからっ子ノートの修正・活用について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援マップが終了したら取り組んでいく。 ・使用目的等を確認し周知していくために、たからっ子ノートを使い終わった方々の保護者に、感想や活用事例を聞いていく。 <p><トライアングルプロジェクトについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・家庭・福祉の連携 <p>学校と家庭と放課後等デイサービスとの連携と捉えがちであるが、コーディネーター役の特定相談支援事業所との連携も大切ではないか。医療機関との連携も入った宝塚 Ver を作成しても良いのではないか。</p>
・支援マップの作成について	<p>・プロジェクトチームを立ち上げ、検討を重ねてきた。最終的に部会で3グループに分かれ、誤字、文字、挿絵の配置、表現等の最終確認を行い、校正をかけた。</p> <p><冊子名について>冊子名:「たからっこお助けブック」に決定</p> <p>他候補:たからっ子 応援 ガイド/ブック/マップ たからっ子 未来 ガイド/ブック/マップ こころが軽くなるサポートブック(ここかる)</p>

第2回こども部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年8月7日 13:30~15:00 第2庁舎 A・B および ZOOM
出欠者	出席者:12名・事務局:3名 欠席者:7名

議題	内容(決定事項等について)
<p>・たからっこお助けブックについて</p>	<p>・たからっこお助けブック:4000部 印刷済</p> <p>・福祉関係者が集まる会議(高齢・障害(がい)虐待防止ネットワーク会議)で約30部 配布予定である。</p> <p><配布先について></p> <p>いつでも誰でも手に取り、閲覧することができる場所に設置するのが良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳半健診:健康推進課に部数を確認する。 ・保育所(認可・認可外)/児童館/幼稚園/認定こども園/子育て支援センター:各管轄に設置について確認する。 ・医療機関(産婦人科・小児科):医師会に設置について確認する。 ・こども部会の委員は、必要部数を基幹相談支援センターまで取りに行く。 <p><窓口について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター、コミセン希望 <p><ポスターについて></p> <p>一目でわかるポスターがあれば良いのではとの意見があり、必要であれば準備していく。</p>
<p>・たからっこノートについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文言の修正等、各事業所で確認をする。 ・どのように「たからっこノート」が活用されているか検討を進めていく。
<p>・こども部会で取り上げたこと</p>	<p><トライアングルプロジェクトについて></p> <p>委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭と放課後等デイサービスとの連携と捉えがちであるが、コーディネートしていくのは特定相談支援事業所である。 ・保育所等訪問支援もあるが、周知されていないように感じる。 ・何か実態調査が必要ではないか。 <p>まとめ:トライアングルについては、計画相談の現状や好事例の抽出・アンケート調査等も検討していく。</p> <p><たからっこノートについて></p> <p>委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス(放課後等デイサービス)の情報の記入欄が無い。 ・前頁を刷新するより、一部修正して足すということでも良いのではないか。 ・幼児教育が最初に関わるが、就学後以降は把握できていないと思われる。就学後の機関もあるので追跡調査のような形で情報収集しても良いのではないか。 ・実際に調査してみてもどうか。特別支援学級への入級の際に利用しているかと思われる。 ・教育機関から冊子をもらっていると聞いているが、教員は異動もあるので、現

	<p>状は把握が難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い方については、障害年金の申請の際に役立っていると思われる。子育ての記録として、また親亡き後、親が伝達できなくなった際も同様に有効と考える。 ・対象を全ての市民(児童)にすると、分量が多く効果も不透明なので、配布する対象者は絞った方が良いのではないか。 <p>まとめ:たからっ子ノートについては、趣旨を再度整理することが必要。アンケートを含めた調査を考えていく。</p> <p><その他></p> <p>医療的ケア児について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児慢性の医療受給者証の助成対象者には、訪問等により実態把握、災害時の対応について整理を行っている。対象外については未把握で、宝塚市ではどうなっているか、部会で連携していけたらと思う。
--	--

第3回こども部会 会議議事録	
日時・場所	令和6年10月2日 15:00~16:30 第2庁舎 A・B および ZOOM
出欠者	出席者:13名・事務局:4名 欠席者:6名
議題	内容(決定事項等について)
・たからっこお助けブックについて	<p><配布方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳半健診:本日より、1歳半健診の時に配布していく。 ・医療機関:医師会にたからっこお助けブックと依頼文を送付していく。 ・学校関係:市役所よりメール便で送付予定。 <p><ポスター制作></p> <p>文言や説明文の修正を行った。</p> <p>各部署に好きな部数・好きなサイズで印刷してもらう予定。</p>
・たからっ子ノートについて	<p>たからっ子ノートの全体像を把握してから文言の修正等を行っていく。</p> <p>どのように使っていきたいか、何を知りたいかを明確にし、前向きなアンケートを作成する。</p> <p>アンケートの対象:家庭・学校・福祉サービス・利用者</p> <p>アンケートの内容について、グループワークを実施。</p> <p>【案】</p> <p>たからっ子ノートを使い始めた時期/記入のしやすさ、しづらい所はどこか/どんな項目があったら使いやすいか/どういう所で役にたったか等、たからっ子ノートについて、必要性を感じられるものを作れたらよい/上手にファイリングしている方の事例を見ることができたら良いのではないかな等の意見が挙がった。</p>

・トライアングルプロジェクトについて	・たからっ子ノートと同じようにアンケートを作成していく。 送迎の場所等は、家庭・福祉・事業所・学校のトライアングルでやり取りしてもらうと良いが、困り事がある場合は、トライアングルだけではなく、必要な専門職(計画相談員等)と必要な時に繋がることのできるよう工夫が必要。
--------------------	--

【今後について】

- ・「たからっ子ノート」について協議していく。

令和6年度 宝塚市自立支援協議会 事務局会議 会議議事録	
日時・場所	10:00~12:00・3A会議室 他
議題	内容(決定事項等について)
開催日	4月10日(水) 5月 8日(水) 6月12日(水) 7月10日(水) 8月14日(水) 9月11日(水)
定例報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区における新規相談件数の報告 ・各月の地域活動報告、情報交換 ・自立支援協議会専門部会の報告 ・各地区における好事例・課題・地域活動の報告について
地域移行について	<p>・地域移行支援事業所へアンケートを取った結果、令和6年度においては「依頼を受けた」が1件、「支援の準備中」が6件、「支援中」が3件であった。事務局会議においては、事務手続きや具体的な対応についてのノウハウの共有を深めた。また、保健所が開催する三田市との連絡会に参加し、精神科病院、保健所との連携を深めながら進めていく。</p>
他機関連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・特定相談支援事業所連絡会へ委託相談支援事業所3事業所が輪番制で参加し、相談体制の強化を行っている。 ・地域福祉課と災害時要援護者支援制度の登録状況や要援護者への対応について確認した。 ・高齢者・障害(がい)者虐待防止ネットワークへ参加し、障害(がい)理解の啓発、虐待の早期発見、早期対応についての啓発の取り組みを報告した。 ・高齢障害(がい)合同研修を2回企画し、特定相談支援事業所、地域包括支援センター、障害(がい)福祉課から約80人程の参加があった。 ・スクールソーシャルワーカーの連絡会へ参加し、相談支援体制の説明を行い、委託相談との連携方法について意見交換を行った。

【今後について】

- ・委託相談支援事業所の立場から、地域活動していく中で地域課題を抽出していき、必要に応じて各専門部会に提案していく。
- ・地域移行、他機関連携についても継続して協議を行う。

令和6年度 宝塚市自立支援協議会 特定相談支援事業所連絡会 会議議事録	
日時・場所	13:30~15:00・第2庁舎会議室 B 他
議題	内容(決定事項等について)
開催日	4月30日(火) 5月28日(火) 6月25日(火) 7月30日(火) 8月27日(火)
定例報告	<ul style="list-style-type: none"> ・障害(がい)福祉課福祉サービスチームより支給決定に関する連絡及び質疑応答 ・基幹相談支援センターより情報提供 ・各事業所からの連絡事項・周知等について ・自立支援協議会専門部会の報告
体制の変更について	<p>・主任相談支援専門員配置加算を取得している特定相談支援事業所に対し、参加職員に加え、主任相談支援専門員 1 名が輪番制で連絡会への参加してもらい「よろず相談」という名称で特定相談支援事業所が抱える困難事例についてスーパーバイズできる仕組みを整備しつつあるが、相談件数が少ないことが課題である。(8月時点で4件)</p> <p>・特定相談支援事業所の意見抽出の促進と、委託相談支援事業所との相談体制の強化を目的に、委託相談支援事業所3名が輪番制で参加し、グループワークのファシリテーターを担う仕組みを整えた。</p>
相談員向けの研修について	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害(がい)についての研修を実施。 令和6年6月25日(火) 13:30~15:00 場所:第2庁舎 会議室 B 講師:ひょうご発達障害者支援センタークローバー宝塚ランチ 坂根 遥氏

【今後について】

- ・相談支援専門員の質の向上に向けた取組
(宝塚市立病院、権利擁護支援センターとの意見交換会、事例検討等)